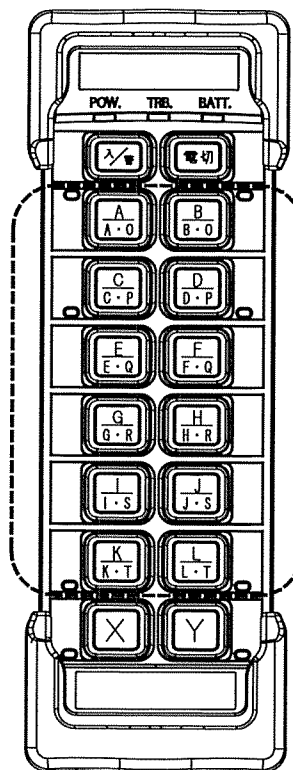


〔出力対応確認図〕

該当機種

FRE160WZ-FTH160WZ
GRE160WZ-QTH160WZ
ARE160WZ-ATH160WZ

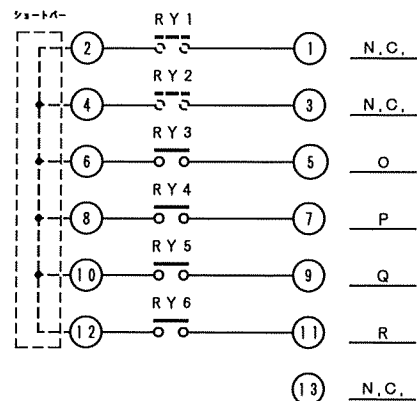
※TH160WZ



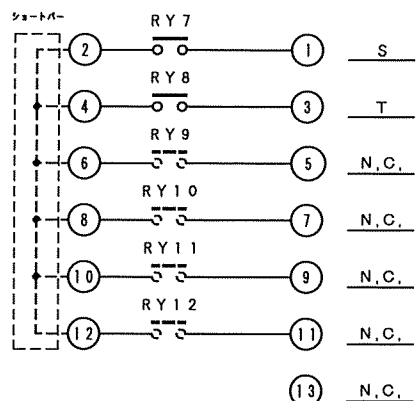
※3
動作中



端子台 3

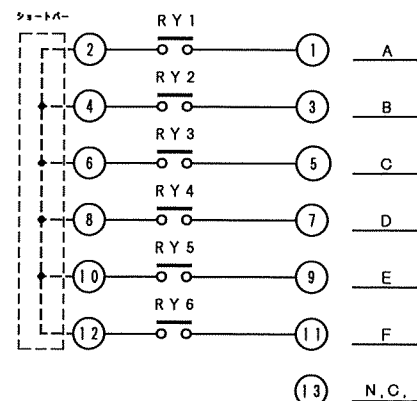


端子台 4

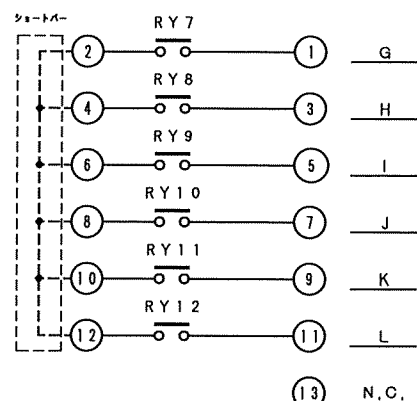


子基板 2

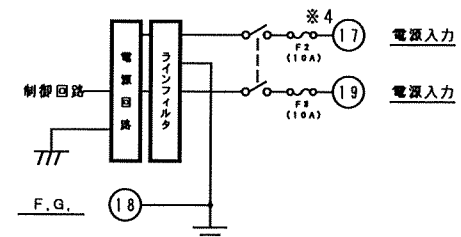
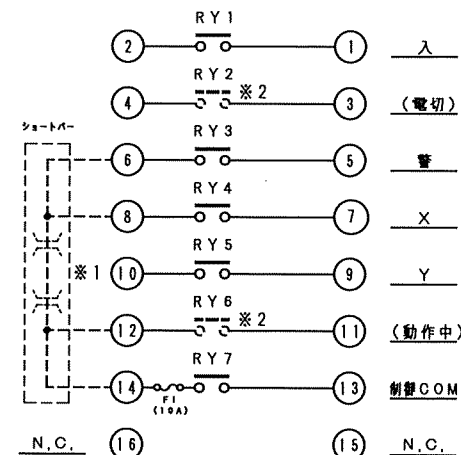
端子台 1



端子台 2

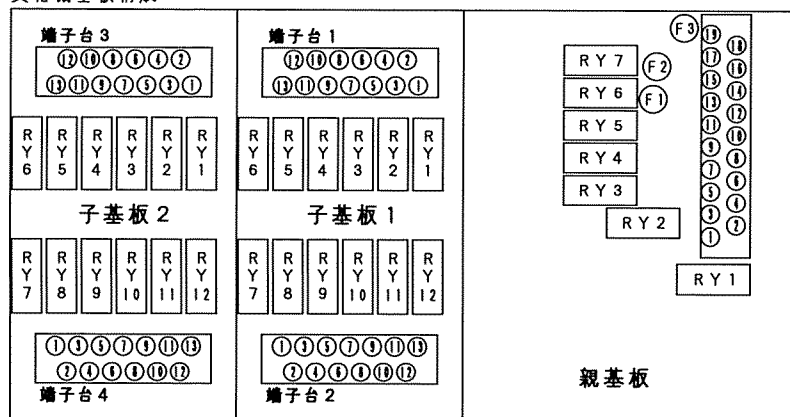


子基板 1



親基板

受信機基板構成



- ※1 ショートバーをご利用時に、必要な長さにカットし、お使い下さい。
又、『CTW2』を受信機ラッチで使用する場合は、
ショートバーをカットし、親基板端子『8』-『12』、『10』-『13』
をそれぞれジャンパーして下さい。(上図はショートバー取付例です)
- ※2 親基板のRY2、RY6はオプション対応。
- ※3 (動作中)が出力するスイッチ。
- ※4 DC仕様の場合、電源の+側を17番、-側を19番端子に接続して下さい。

